



# ホット・ほっと

Vol.35

## 目次

1 令和4年度 利用者満足度調査結果(速報)

2 若年性認知症の方への支援を行っています

3 精神障害者支援部門での対外活動

しらさぎ苑 通所リハビリテーション

コラム ● 認知症ともの忘れについて

近くの河原に咲くハナニラ。  
一斉に可憐な花が咲き、春の訪れを感じさせる。  
撮影：内田明子（神奈川区生活支援センター）

## 1

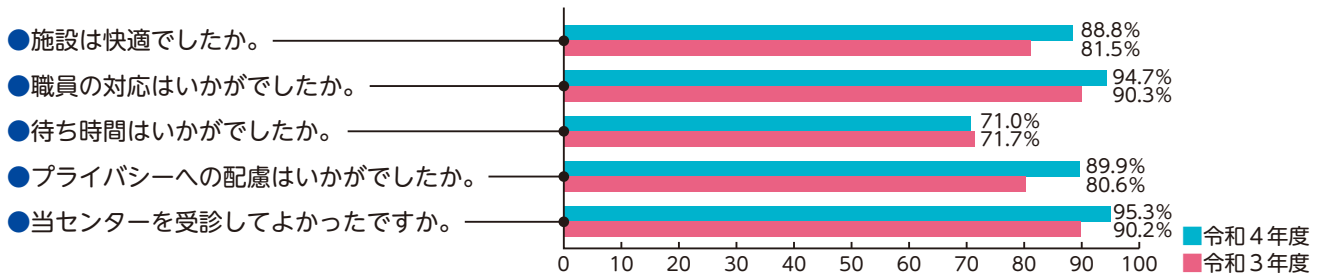
# 令和4年度 利用者満足度調査結果 **速報**



外来部門・通所部門ともご利用者の皆様から高い評価をいただきました

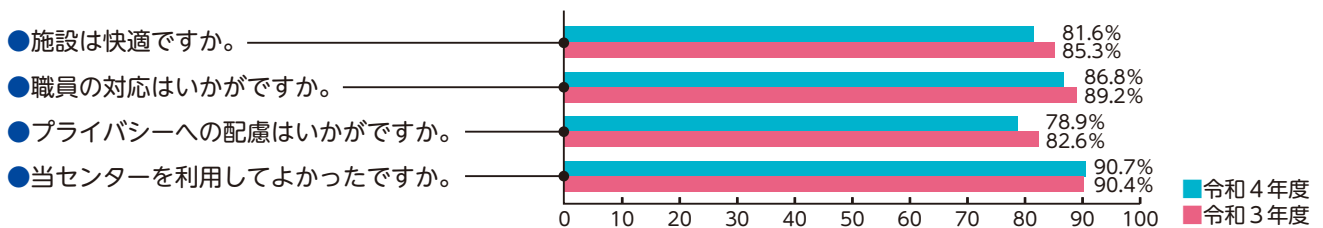
### 外来部門

有効回答数に対する「とてもよい」と「よい」の割合は次のとおりで、概ね良い評価をいただきました。



### 通所部門

有効回答数に対する「とてもよい」と「よい」の割合は次のとおりで、概ね良い評価をいただきました。



この調査結果を踏まえ、より一層の改善に努め、引き続きご利用者の皆様に満足していただけるよう取り組んでまいります。

# 若年性認知症の方への 支援を行っています



## 若年性認知症とは

65歳未満で発症する認知症のことで、2020年の調査研究では18～64歳の人口10万人当たりの患者数は50.9人と報告されていて、比較的まれな病気ですが、発症年齢が早いため、次のような問題があります。

1. 初発時点では症状が軽く、日常生活には支障ないことが多く、診断が難しい
2. 現役世代で発症することが多く、休職・退職等に伴う経済的な問題が大きい
3. 子の教育、親の介護などに携わっている場合もあり、介護者の負担が大きい

### 若年性認知症の原因となる疾患

アルツハイマー型認知症や脳血管性認知症が主なものです。高齢者に比べ、前頭側頭型認知症の割合が高いのが特徴です。

そこで、総合保健医療センターでは、次のような支援を行っています。

## 若年性認知症の方への支援内容

### ① 若年性認知症支援コーディネーター事業

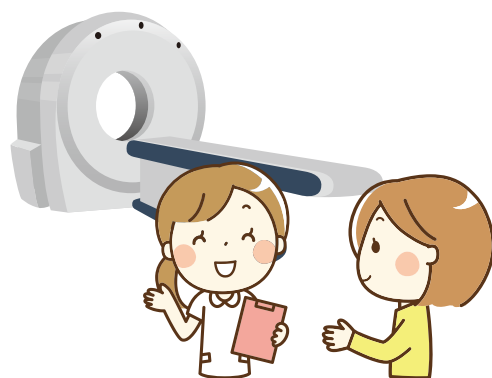
若年性認知症に関する専門の相談員を配置し、ご本人やご家族からのご相談に対して、解決に向けた支援を行います。

### ② 若年性認知症専門外来

若年性認知症の方専用の外来を設けて認知症の専門医が診療します。①のコーディネーターによる面談や情報提供も併せて行っています。

### ③ 認知症診断外来

脳のMRI検査に加えて、脳血流検査などのより詳しい検査や診察を行うことで、若年性認知症かどうかを早期に診断して治療につなげます。



**最近、物忘れが気になるなど、不安を感じている方には受診をお勧めします！**

※受診や検査は予約制です

ご相談、お申し込みはこちらまで

**総合相談室 045 (475) 0103**

受付時間：月～金曜日 8：45～17：15

## 3

## 精神障害者支援部門

## での対外活動

様々な対外活動の中で、支援者向け研修と学会発表について概要をご紹介します。

### 支援者向け研修（精神障害リハビリテーション講座）

平成6年度より関係機関向けの援助技術研修として始まった講座です。地域の関係機関の方と連携を図り、お互いによりよい学びの場となるよう毎年企画しています。令和4年度は、コロナ禍で延期になっていた3年度分の講座と合わせて、計2回の講座を開催しました。

#### 第1回（令和4年5月19日） テーマ：若年性認知症の支援と実際

地域で障害サービスを提供する支援者の方に、若年性認知症のことや当事者及びご家族が利用できる相談機関や介護・福祉サービスについて理解を深めていただくことを目的に、地域で活動されている「NPO 法人マイ Way」「トポス和果」「横浜市若年性認知症コーディネーター」を講師にお迎えし開催しました。

受講者からは、「疾患の理解、サービスを利用されている当事者やご家族の方の生の声をお聞きできた」「実際の取組みを知ってよかった」「連携の必要性を強く感じた」など様々な声をいただきました。

#### 第2回（令和5年2月7日） テーマ：当事者家族の語りを聞く～家族支援について考える～

当事者を支えるご家族を支援する「家族支援」を学ぶことで、ご家族の悩みや不安、当事者の思いに寄り添える「家族支援」について学ぶ機会として、シルバーリボンの会代表の森野民子様を講師にお迎えし開催しました。

参加者の方からは、「自分自身の普段の臨床を振り返って、身の引き締まる感じがした」などの感想をいただきました。

### 学会発表

日本精神障害者リハビリテーション学会 第29回群馬オンライン大会において、当センター生活訓練係で実施している自立訓練（生活訓練事業）、通称「ファーストステップ」に関する実践報告を行いました。コロナ禍での完全オンラインでの発表となりましたが、発表した職員からは「たくさんの方々に私たちの実践を知ってもらえることができ嬉しかったです。自分たちとはまた別の視点から見ていただいたことで、ファーストステップで大切にすべきことを再確認しつつ、改良のヒントが得られました」といった感想も聞かれました。（発表資料は次のリンクからご覧いただけます）

なお、「ファーストステップ」では、短期間の通所を通じて、働くことや生活のこと、また体調などについて「今の自分を知る」ことができます。「はじめの一步」に、是非ファーストステップをご活用ください！！



発表資料はこちら▶





# しらさぎ苑 通所リハビリテーション

感染予防対策を徹底しご利用お待ちしております!



雰囲気はどう?

どんなリハビリテーションをするの?

おいしいお昼ご飯は出るの?

見学・体験利用の送迎も実施しています。ご相談ください。

(お食事をされる方は実費をいただきます)

お申込み・お問い合わせ ☎045-475-0132 (担当 齋藤 山口)

※お気軽にご相談ください (10時から17時まで)

## コラム

### 認知症ともの忘れについて

“もの忘れ”は、誰でも年を重ねると現れるものです。その中で普通の生活に困るようになると、「おかしい」「認知症かも」と不安になります。もやもやとしている間に、交通事故や火事など後戻りができない状況になるかもしれません。少しでも不安を感じたら、早めに認知症外来や物忘れ外来など受診してください。

その際、ご本人が「受診する」というまで待つてあげてください。ご家族様も不安でしょうが、一番不安なのはご自身です。受診によって本人が落ち込んでしまうと、認知症は



さらに進行します。

少しでも気になることがありましたら、ご相談だけでもかまいませんので、お気軽に当センターをご利用ください。

## 施設案内

**横浜市総合保健医療センター** TEL/045 (475) 0001  
FAX/045 (475) 0002

- ◆精神障害者支援部門 (精神科デイケア・生活訓練・就労訓練・就労支援センター)
- ◆介護老人保健施設(しらさぎ苑) 80床 (認知症専門棟30床・一般棟50床・通所リハビリテーション)
- ◆診療所 内科・精神科(認知症診断を実施) 特定健康診査・横浜市健康診査 医療病床7床
- ◆介護医療院 12床
- ◆訪問看護ステーション「みんなのつばさ」

◆港北区生活支援センター TEL/045 (475) 0120  
FAX/045 (475) 0121

### 神奈川区生活支援センター

TEL/045 (322) 2907  
FAX/045 (322) 2908

### 磯子区生活支援センター

TEL/045 (750) 5300  
FAX/045 (750) 5301

## 交通案内



- ・ JR横浜線または市営地下鉄「新横浜駅」から徒歩約10分
- ・ 新横浜駅から市営バス96系統「浜島橋」下車徒歩1分
- ・ 第三京浜港北インターチェンジから車で約5分

★横浜市総合保健医療財団は、指定管理者として、横浜市総合保健医療センター及び神奈川区・磯子区の各生活支援センターの運営を担っています。

発行日/令和5年4月

発行 公益財団法人横浜市総合保健医療財団 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1735番地  
TEL/045(475)0001 FAX/045(475)0002 ホームページ/https://yccc.jp